通貨選択型アメリカン・エクイティ・αクワトロ（毎月分配型）

運用報告書（全体版）

第54期（決算日　2020年１月17日）
第55期（決算日　2020年２月17日）
第56期（決算日　2020年３月17日）
第57期（決算日　2020年４月17日）
第58期（決算日　2020年５月18日）
第59期（決算日　2020年６月17日）

（作成対象期間　2019年12月18日～2020年６月17日）

受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

当ファンドは、米国の高配当株式に投資するとともに、為替取引ならびに株式および通貨のカバードコール戦略を組み合わせることで、高水準のインカム性収益の確保と信託財産の成長をめざしております。当作成期につきましてもそれに沿った運用を行ないました。ここに、運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／株式		
信託期間	約10年間（2015年６月26日～2025年６月17日）		
運用方針	信託財産の成長をめざして運用を行ないます。		
主要投資対象	当ファンド	イ．ケイマン籍の外国投資信託「クレディ・スイス・ユニバーサル・トラスト（ケイマン）Ⅲ－ダイワ・アメリカン・ハイ・ディビデンド・エクイティ・クワトロ・インカム・ファンド」の受益証券（円建） ロ．ダイワ・マネーポートフォリオ・マザーファンドの受益証券	
	ダイワ・マネーポートフォリオ・マザーファンド	円建ての債券	
組入制限	当ファンドの投資信託証券組入上限比率	無制限	
	マザーファンドの株式組入上限比率	純資産総額の10%以下	
分配方針	分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等とし、当初設定から１年以内に分配を開始し、分配開始後は、原則として、毎決算時に分配を行なうことを目標に、基準価額の水準を勘案して分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行なわないことがあります。		

大和アセットマネジメント
Daiwa Asset Management

大和アセットマネジメント株式会社
東京都千代田区丸の内一丁目９番１号
お問い合わせ先（コールセンター）
TEL　０１２０－１０６２１２
（営業日の９：00～17：00）
https://www.daiwa-am.co.jp/

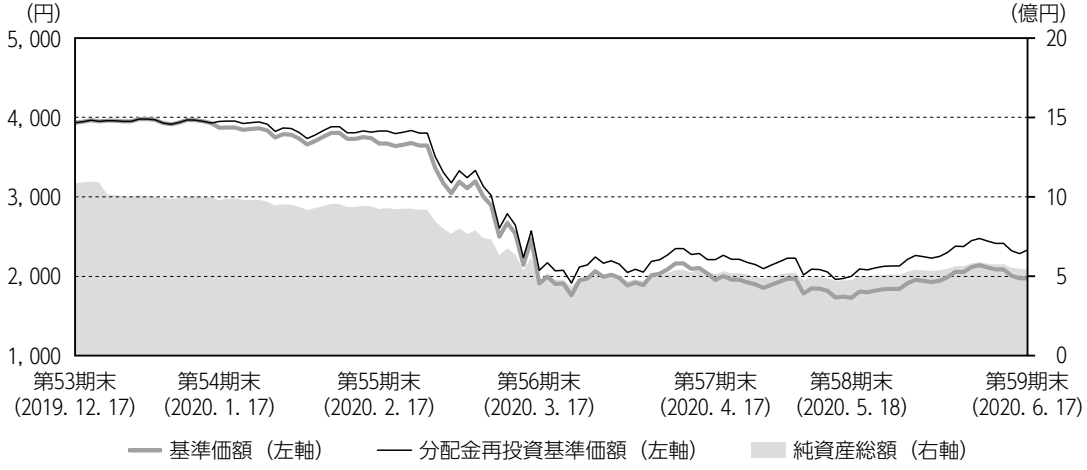
最近30期の運用実績

決算期	基準価額			公社債組入比率	投資信託受益証券組入比率	純資産総額
	（分配落）	税込み分配金	期中騰落率			
	円	円	%	%	%	百万円
30期末（2018年1月17日）	6,652	120	2.0	—	96.0	2,801
31期末（2018年2月19日）	6,212	120	△ 4.8	—	98.7	2,408
32期末（2018年3月19日）	6,044	120	△ 0.8	—	98.7	2,296
33期末（2018年4月17日）	5,804	120	△ 2.0	—	98.6	2,171
34期末（2018年5月17日）	5,539	120	△ 2.5	—	98.7	2,056
35期末（2018年6月18日）	5,400	120	△ 0.3	—	98.5	1,874
36期末（2018年7月17日）	5,339	120	1.1	—	98.4	1,836
37期末（2018年8月17日）	5,243	120	0.4	—	98.6	1,736
38期末（2018年9月18日）	4,937	120	△ 3.5	—	97.9	1,600
39期末（2018年10月17日）	5,115	80	5.2	—	97.1	1,669
40期末（2018年11月19日）	5,081	80	0.9	—	99.2	1,604
41期末（2018年12月17日）	4,752	80	△ 4.9	—	98.4	1,423
42期末（2019年1月17日）	4,633	80	△ 0.8	—	98.7	1,346
43期末（2019年2月18日）	4,789	80	5.1	—	98.4	1,385
44期末（2019年3月18日）	4,715	80	0.1	—	98.0	1,323
45期末（2019年4月17日）	4,695	80	1.3	—	98.6	1,292
46期末（2019年5月17日）	4,367	80	△ 5.3	—	97.9	1,213
47期末（2019年6月17日）	4,384	80	2.2	—	98.4	1,222
48期末（2019年7月17日）	4,474	80	3.9	—	98.5	1,239
49期末（2019年8月19日）	3,917	80	△ 10.7	—	98.1	1,086
50期末（2019年9月17日）	4,006	80	4.3	—	98.4	1,113
51期末（2019年10月17日）	3,861	80	△ 1.6	—	99.0	1,057
52期末（2019年11月18日）	3,864	80	2.1	—	97.8	1,071
53期末（2019年12月17日）	3,934	80	3.9	—	98.3	1,085
54期末（2020年1月17日）	3,870	80	0.4	—	97.7	979
55期末（2020年2月17日）	3,672	80	△ 3.0	—	98.0	923
56期末（2020年3月17日）	1,909	80	△ 45.8	—	99.2	473
57期末（2020年4月17日）	1,953	80	6.5	—	96.6	511
58期末（2020年5月18日）	1,728	40	△ 9.5	—	97.2	474
59期末（2020年6月17日）	1,973	40	16.5	—	99.1	541

（注1）基準価額の騰落率は分配金込み。
（注2）公社債組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。
（注3）公社債組入比率は新株予約権付社債券（転換社債券）および債券先物を除きます。
（注4）当ファンドは、ファンドの運用方針に対して適切な比較指数がないため、ベンチマークおよび参考指数を記載しておりません。

運用経過

基準価額等の推移について



＊分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
＊分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります（分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります）。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

■基準価額・騰落率

第54期首：3, 934円
第59期末：1, 973円（既払分配金400円）
騰 落 率：△40. 8%（分配金再投資ベース）

■基準価額の主な変動要因

アメリカン・エクイティ・クワトロ・ファンドの下落が要因となり、基準価額は下落しました。アメリカン・エクイティ・クワトロ・ファンドについては、米国の株式に投資し、米ドル売り／ブラジル・レアル買いの為替取引を行うとともに、株式ならびに通貨（円に対するブラジル・レアル）のカバードコール戦略を構築した結果、為替取引によるプレミアム（金利差相当分の収益）はプラスに寄与しましたが、株式が下落したことやブラジル・レアルが対円で下落（円高）したことがマイナス要因となり、下落しました。オプション取引については、現物株式は当作成期を通して見ると下落したものの、下落期間より上昇期間の方が長く、下落期間におけるオプション要因のプラス効果より上昇期間でのマイナス要因の蓄積の方が大きくなったため、株式のオプションはマイナス要因となりました。通貨のオプションの影響は軽微でした。

通貨選択型アメリカン・エクイティ・αクワトロ（毎月分配型）

	年　月　日	基準価額		公社債組入比率	投資信託受益証券組入比率
			騰落率		
		円	%	%	%
第54期	（期 首）2019年12月17日	3,934	—	—	98.3
	12月末	3,980	1.2	—	99.4
	（期 末）2020年１月17日	3,950	0.4	—	97.7
第55期	（期 首）2020年１月17日	3,870	—	—	97.7
	１月末	3,733	△ 3.5	—	98.6
	（期 末）2020年２月17日	3,752	△ 3.0	—	98.0
第56期	（期 首）2020年２月17日	3,672	—	—	98.0
	２月末	3,172	△ 13.6	—	97.5
	（期 末）2020年３月17日	1,989	△ 45.8	—	99.2
第57期	（期 首）2020年３月17日	1,909	—	—	99.2
	３月末	2,019	5.8	—	97.9
	（期 末）2020年４月17日	2,033	6.5	—	96.6
第58期	（期 首）2020年４月17日	1,953	—	—	96.6
	４月末	1,930	△ 1.2	—	99.1
	（期 末）2020年５月18日	1,768	△ 9.5	—	97.2
第59期	（期 首）2020年５月18日	1,728	—	—	97.2
	５月末	1,941	12.3	—	98.4
	（期 末）2020年６月17日	2,013	16.5	—	99.1

（注）期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

投資環境について （2019. 12. 18 ～ 2020. 6. 17）

■米国株式市況

ｉシェアーズ好配当株式ＥＴＦ（配当再投資）は米ドルベースで下落しました。

米国株式市況は、当作成期首から2020年２月中旬にかけて、米中両国が通商協議の第１段階の合意に達して貿易摩擦に対する懸念が後退したことや好調な米国の企業業績などを背景に、底堅く推移しました。２月下旬から３月下旬にかけては、新型コロナウイルスの世界的な感染拡大によりリスク回避の動きが強まり、米国株式市況は下落しました。ＯＰＥＣプラス（ＯＰＥＣ加盟国とロシアなど非加盟国）で協調減産の協議が不調となり原油価格が急落したことも、投資家心理を悪化させました。４月以降は、ＦＲＢ（米国連邦準備制度理事会）による金融緩和策の強化や米国における大規模な経済対策の成立により投資家のリスク回避姿勢が和らぎ、米国株式市況は上昇に転じました。

■為替相場

ブラジル・レアルは対円で下落しました。

当作成期首より、米中両国が通商協議の第１段階の合意に達して貿易摩擦に対する懸念が後退したことなどはレアルの支援材料となりましたが、2020年に入ると、ブラジル中央銀行が利下げを行うとの見方が強まったことなどからレアルは軟調に推移しました。１月下旬以降は、中国の新型コロナウイルス感染拡大に対する懸念が強まり、続落しました。２月下旬から５月上旬にかけては、新型コロナウイルスの世界的な感染拡大によりリスク回避の動きが強まったことや、原油価格が急落したことなどを受けて、レアルは下げ幅を広げる展開となりました。また、ブラジルの主要閣僚であり国民の人気も高いモロ法相の辞任をめぐる政治リスクの悪化懸念も悪材料となりました。５月中旬に入ると、原油価格の上昇や世界各国で経済活動再開の動きが広まってきたことなどを背景に、レアルは上昇に転じました。

■短期金利市況

ＦＲＢ（米国連邦準備制度理事会）は、政策金利の誘導目標レンジを合計1.50％ポイント引き下げ、0.00～0.25％としました。一方、ブラジル中央銀行は政策金利を合計1.50％ポイント引き下げ、3.00％としました。

前作成期末における「今後の運用方針」

■当ファンド

引き続き、アメリカン・エクイティ・クワトロ・ファンドとダイワ・マネーポートフォリオ・マザーファンドに投資します。また、アメリカン・エクイティ・クワトロ・ファンドへの投資割合を高位に維持することを基本とします。

※アメリカン・エクイティ・クワトロ・ファンド：クレディ・スイス・ユニバーサル・トラスト（ケイマン）Ⅲ－ダイワ・アメリカン・ハイ・ディビデンド・エクイティ・クワトロ・インカム・ファンド

■アメリカン・エクイティ・クワトロ・ファンド

ダウ・ジョーンズ米国セレクト配当指数を対象としたＥＴＦ（上場投資信託証券）を活用し、米国の高配当株式への投資を行います。米ドル建ての資産に対して、原則として、米ドル売り／ブラジル・レアル買いの為替取引を行います。対象とする指数またはＥＴＦにかかるコール・オプション（買う権利）の売りを行い、株式カバードコール戦略を構築します。オプションのカバー率はファンドの純資産総額の50％程度とします。円に対するブラジル・レアルのコール・オプションの売りを行い、通貨カバードコール戦略を構築します。オプションのカバー率はファンドの純資産総額のおおむね50％程度とします。

■ダイワ・マネーポートフォリオ・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

ポートフォリオについて （2019. 12. 18 ～ 2020. 6. 17）

■当ファンド

アメリカン・エクイティ・クワトロ・ファンドとダイワ・マネーポートフォリオ・マザーファンドに投資しました。アメリカン・エクイティ・クワトロ・ファンドへの投資割合を高位に維持しました。

■アメリカン・エクイティ・クワトロ・ファンド

ダウ・ジョーンズ米国セレクト配当指数を対象としたＥＴＦ（上場投資信託証券）を活用し、米国の高配当株式に投資を行いました。米ドル建ての資産に対して米ドル売り／ブラジル・レアル買いの為替取引を行いました。投資対象とするＥＴＦにかかるコール・オプション（買う権利）の売りを行い、株式カバードコール戦略を構築しました。オプションのカバー率はファンドの純資産総

額のおおむね50％程度としました。円に対するブラジル・レアルのコール・オプションの売りを行い、通貨カバードコール戦略を構築しました。オプションのカバー率はファンドの純資産総額のおおむね50％程度としました。

■ダイワ・マネーポートフォリオ・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、コール・ローン等による運用を行いました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

分配金について

当作成期の１万口当り分配金（税込み）は下記「分配原資の内訳（１万口当り）」の「当期分配金（税込み）」欄をご参照ください。

収益分配金の決定根拠は下記「収益分配金の計算過程（１万口当り）」をご参照ください。

なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

■分配原資の内訳（１万口当り）

項目	第54期	第55期	第56期	第57期	第58期	第59期
	2019年12月18日～2020年１月17日	2020年１月18日～2020年２月17日	2020年２月18日～2020年３月17日	2020年３月18日～2020年４月17日	2020年４月18日～2020年５月18日	2020年５月19日～2020年６月17日
当期分配金（税込み）（円）	**80**	**80**	**80**	**80**	**40**	**40**
対基準価額比率（％）	2.03	2.13	4.02	3.94	2.26	1.99
当期の収益（円）	62	66	46	41	34	40
当期の収益以外（円）	17	13	33	38	5	—
翌期繰越分配対象額（円）	4,409	4,396	4,364	4,328	4,324	4,329

（注１）「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

（注２）円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。

（注３）当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

（注４）投資信託の計理上、「翌期繰越分配対象額」は当該決算期末時点の基準価額を上回る場合がありますが、実際には基準価額を超える額の分配金をお支払いすることはございません。

■収益分配金の計算過程（１万口当り）

項　　目	第54期	第55期	第56期	第57期	第58期	第59期
(a)経費控除後の配当等収益	✓ 62.75円	✓ 66.28円	✓ 46.58円	✓ 41.75円	✓ 34.83円	✓ 44.10円
(b)経費控除後の有価証券売買等損益	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(c)収益調整金	4,328.24	4,330.29	4,335.42	✓ 4,340.30	✓ 4,330.04	4,325.74
(d)分配準備積立金	✓ 98.53	✓ 79.66	✓ 62.64	✓ 26.59	0.00	0.00
(e)当期分配対象額（a+b+c+d）	4,489.54	4,476.24	4,444.66	4,408.64	4,364.87	4,369.84
(f)分配金	80.00	80.00	80.00	80.00	40.00	40.00
(g)翌期繰越分配対象額（e−f）	4,409.54	4,396.24	4,364.66	4,328.64	4,324.87	4,329.84

(注) ✓を付した該当項目から分配金を計上しています。

今後の運用方針

■当ファンド

引き続き、アメリカン・エクイティ・クワトロ・ファンドとダイワ・マネーポートフォリオ・マザーファンドに投資します。また、アメリカン・エクイティ・クワトロ・ファンドへの投資割合を高位に維持することを基本とします。

■アメリカン・エクイティ・クワトロ・ファンド

ダウ・ジョーンズ米国セレクト配当指数を対象としたＥＴＦ（上場投資信託証券）を活用し、米国の高配当株式への投資を行います。米ドル建ての資産に対して、原則として、米ドル売り／ブラジル・レアル買いの為替取引を行います。対象とする指数またはＥＴＦにかかるコール・オプション（買う権利）の売りを行い、株式カバードコール戦略を構築します。オプションのカバー率はファンドの純資産総額の50％程度とします。円に対するブラジル・レアルのコール・オプションの売りを行い、通貨カバードコール戦略を構築します。オプションのカバー率はファンドの純資産総額のおおむね50％程度とします。

■ダイワ・マネーポートフォリオ・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

1万口当りの費用の明細

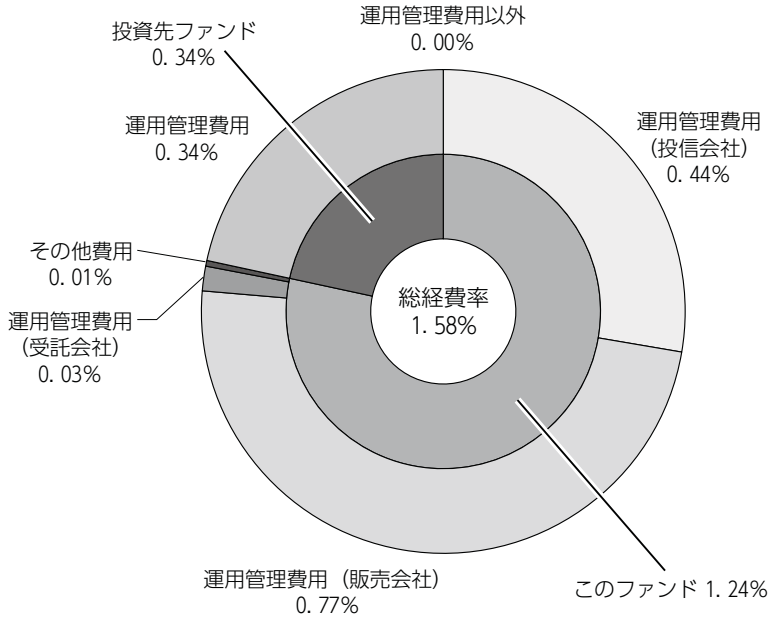
項　　目	第54期～第59期 (2019. 12. 18～2020. 6. 17)		項　目　の　概　要
	金　額	比　率	
信　託　報　酬	17円	0. 616%	信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 **当作成期中の平均基準価額は2, 769円です。**
（投信会社）	(6)	(0. 219)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託会社への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
（販売会社）	(11)	(0. 385)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
（受託会社）	(0)	(0. 013)	受託会社分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売買委託手数料	2	0. 082	売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
（投資信託受益証券）	(2)	(0. 082)	
有価証券取引税	—	—	有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
そ の 他 費 用	0	0. 003	その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数
（監査費用）	(0)	(0. 003)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（そ　の　他）	(0)	(0. 000)	信託事務の処理等に関するその他の費用
合　　計	19	0. 702	

（注1）当作成期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。
（注2）各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。
（注3）各比率は1万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第3位未満を四捨五入してあります。
（注4）組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

参考情報

■総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を、期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当り）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.58%です。



総経費率　（　①　＋　②　＋　③　）	1.58%
①このファンドの費用の比率	1.24%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.34%
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.00%

（注1）①の費用は、1万口当りの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。
（注2）各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。
（注3）各比率は、年率換算した値です。
（注4）投資先ファンドとは、このファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。
（注5）①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。
（注6）①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。
（注7）上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率と異なります。

■売買および取引の状況

投資信託受益証券

（2019年12月18日から2020年６月17日まで）

決算期	第54期～第59期			
	買付		売付	
	口数	金額	口数	金額
	千口	千円	千口	千円
外国（邦貨建）	10,067.57076	127,570	11,338.238	192,421

（注１）買付は、外国投資信託から支払われた分配金による再投資分を含みます。
（注２）金額は受渡し代金。
（注３）金額の単位未満は切捨て。

■主要な売買銘柄

投資信託受益証券

（2019年12月18日から2020年６月17日まで）

第54期～第59期								
買付				売付			
銘柄	口数	金額	平均単価	銘柄	口数	金額	平均単価
	千口	千円	円		千口	千円	円
DAIWA AMERICAN HIGH DIVIDEND EQUITY QUATTRO INCOME FUND（ケイマン諸島）	4,226.81687	46,000	10	DAIWA AMERICAN HIGH DIVIDEND EQUITY QUATTRO INCOME FUND（ケイマン諸島）	11,338.238	192,421	16

（注１）金額は受渡し代金。
（注２）金額の単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況等

当作成期中における利害関係人との取引はありません。

■組入資産明細表

(1)ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

ファンド名	第59期末		
	口数	評価額	比率
	千口	千円	%
外国投資信託受益証券 （ケイマン諸島） DAIWA AMERICAN HIGH DIVIDEND EQUITY QUATTRO INCOME FUND	49,532.61272	536,883	99.1

（注１）比率欄は、純資産総額に対する評価額の比率。
（注２）評価額の単位未満は切捨て。

(2)親投資信託残高

種類	第53期末	第59期末	
	口数	口数	評価額
	千口	千口	千円
ダイワ・マネーポートフォリオ・マザーファンド	159	159	159

（注）単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2020年６月17日現在

項目	第59期末	
	評価額	比率
	千円	%
投資信託受益証券	536,883	95.8
ダイワ・マネーポートフォリオ・マザーファンド	159	0.0
コール・ローン等、その他	23,250	4.2
投資信託財産総額	560,293	100.0

（注）評価額の単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

（2020年１月17日）、（2020年２月17日）、（2020年３月17日）、（2020年４月17日）、（2020年５月18日）、（2020年６月17日）現在

項　　目	第54期末	第55期末	第56期末	第57期末	第58期末	第59期末
(A)資産	**1,005,882,184円**	**946,474,802円**	**503,881,446円**	**539,408,151円**	**486,554,121円**	**560,293,687円**
コール・ローン等	47,843,478	42,036,031	34,321,887	38,903,546	24,862,140	23,250,128
投資信託受益証券（評価額）	957,879,104	904,279,185	469,399,973	494,345,019	461,532,411	536,883,989
ダイワ・マネーポートフォリオ・マザーファンド（評価額）	159,602	159,586	159,586	159,586	159,570	159,570
未収入金	—	—	—	6,000,000	—	—
(B)負債	**25,907,562**	**23,311,411**	**30,795,490**	**27,576,578**	**11,558,367**	**18,536,107**
未払金	—	—	—	6,000,000	—	—
未払収益分配金	20,259,885	20,110,909	19,828,840	20,968,139	10,998,062	10,981,733
未払解約金	4,571,884	2,184,641	10,179,034	61,903	8,043	6,974,601
未払信託報酬	1,068,684	1,002,088	768,734	524,172	526,403	550,198
その他未払費用	7,109	13,773	18,882	22,364	25,859	29,575
(C)純資産総額（A－B）	**979,974,622**	**923,163,391**	**473,085,956**	**511,831,573**	**474,995,754**	**541,757,580**
元本	2,532,485,644	2,513,863,698	2,478,605,098	2,621,017,380	2,749,515,583	2,745,433,411
次期繰越損益金	△ 1,552,511,022	△ 1,590,700,307	△ 2,005,519,142	△ 2,109,185,807	△ 2,274,519,829	△ 2,203,675,831
(D)受益権総口数	**2,532,485,644口**	**2,513,863,698口**	**2,478,605,098口**	**2,621,017,380口**	**2,749,515,583口**	**2,745,433,411口**
1万口当り基準価額（C／D）	**3,870円**	**3,672円**	**1,909円**	**1,953円**	**1,728円**	**1,973円**

＊第53期末における元本額は2,758,370,177円、当作成期間（第54期～第59期）中における追加設定元本額は810,702,565円、同解約元本額は823,639,331円です。
＊第59期末の計算口数当りの純資産額は1,973円です。
＊第59期末の純資産総額が元本額を下回っており、その差額は2,203,675,831円です。

■損益の状況

第54期　自2019年12月18日　至2020年１月17日　　第56期　自2020年２月18日　至2020年３月17日　　第58期　自2020年４月18日　至2020年５月18日
第55期　自2020年１月18日　至2020年２月17日　　第57期　自2020年３月18日　至2020年４月17日　　第59期　自2020年５月19日　至2020年６月17日

項　　目	第54期	第55期	第56期	第57期	第58期	第59期
(A)配当等収益	**16,968,979円**	**17,672,468円**	**12,321,521円**	**11,134,500円**	**10,107,119円**	**12,197,199円**
受取配当金	16,970,449	17,673,075	12,322,465	11,135,161	10,107,717	12,197,698
受取利息	34	57	1	43	21	34
支払利息	△ 1,504	△ 664	△ 945	△ 704	△ 619	△ 533
(B)有価証券売買損益	**△ 11,976,468**	**△ 45,879,228**	**△ 421,376,545**	**19,683,089**	**△ 58,590,818**	**64,529,007**
売買益	287,316	449,675	12,194,429	19,879,472	335,623	66,846,890
売買損	△ 12,263,784	△ 46,328,903	△ 433,570,974	△ 196,383	△ 58,926,441	△ 2,317,883
(C)信託報酬等	**△ 1,075,793**	**△ 1,008,752**	**△ 773,843**	**△ 527,690**	**△ 529,916**	**△ 553,945**
(D)当期損益金（A＋B＋C）	**3,916,718**	**△ 29,215,512**	**△ 409,828,867**	**30,289,899**	**△ 49,013,615**	**76,172,261**
(E)前期繰越損益金	**△ 760,641,097**	**△ 755,804,538**	**△ 754,052,104**	**△ 1,138,408,268**	**△ 1,090,771,409**	**△ 1,099,267,552**
(F)追加信託差損益金	**△ 775,526,758**	**△ 785,569,348**	**△ 821,809,331**	**△ 980,099,299**	**△ 1,123,736,743**	**△ 1,169,598,807**
（配当等相当額）	(1,096,122,880)	(1,088,575,906)	(1,074,581,882)	(1,137,601,419)	(1,190,552,598)	(1,187,603,704)
（売買損益相当額）	(△ 1,871,649,638)	(△ 1,874,145,254)	(△ 1,896,391,213)	(△ 2,117,700,718)	(△ 2,314,289,341)	(△ 2,357,202,511)
(G)合計（D＋E＋F）	**△ 1,532,251,137**	**△ 1,570,589,398**	**△ 1,985,690,302**	**△ 2,088,217,668**	**△ 2,263,521,767**	**△ 2,192,694,098**
(H)収益分配金	**△ 20,259,885**	**△ 20,110,909**	**△ 19,828,840**	**△ 20,968,139**	**△ 10,998,062**	**△ 10,981,733**
次期繰越損益金（G＋H）	**△ 1,552,511,022**	**△ 1,590,700,307**	**△ 2,005,519,142**	**△ 2,109,185,807**	**△ 2,274,519,829**	**△ 2,203,675,831**
追加信託差損益金	△ 775,526,758	△ 785,569,348	△ 821,809,331	△ 983,154,163	△ 1,125,157,606	△ 1,169,598,807
（配当等相当額）	(1,096,122,880)	(1,088,575,906)	(1,074,581,882)	(1,134,546,555)	(1,189,131,735)	(1,187,603,704)
（売買損益相当額）	(△ 1,871,649,638)	(△ 1,874,145,254)	(△ 1,896,391,213)	(△ 2,117,700,718)	(△ 2,314,289,341)	(△ 2,357,202,511)
分配準備積立金	20,588,188	16,579,782	7,246,770	—	—	1,127,385
繰越損益金	△ 797,572,452	△ 821,710,741	△ 1,190,956,581	△ 1,126,031,644	△ 1,149,362,223	△ 1,035,204,409

（注１）信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。
（注２）追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。
（注３）収益分配金の計算過程は下記「収益分配金の計算過程（総額）」をご参照ください。

■収益分配金の計算過程（総額）

項　　目	第54期	第55期	第56期	第57期	第58期	第59期
(a) 経費控除後の配当等収益	15,893,178円	16,663,714円	11,547,675円	10,943,843円	9,577,199円	12,109,118円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0	0	0	0	0	0
(c) 収益調整金	1,096,122,880	1,088,575,906	1,074,581,882	1,137,601,419	1,190,552,598	1,187,603,704
(d) 分配準備積立金	24,954,895	20,026,977	15,527,935	6,969,432	0	0
(e) 当期分配対象額 (a+b+c+d)	1,136,970,953	1,125,266,597	1,101,657,492	1,155,514,694	1,200,129,797	1,199,712,822
(f) 分配金	20,259,885	20,110,909	19,828,840	20,968,139	10,998,062	10,981,733
(g) 翌期繰越分配対象額 (e－f)	1,116,711,068	1,105,155,688	1,081,828,652	1,134,546,555	1,189,131,735	1,188,731,089
(h) 受益権総口数	2,532,485,644口	2,513,863,698口	2,478,605,098口	2,621,017,380口	2,749,515,583口	2,745,433,411口

収　益　分　配　金　の　お　知　ら　せ						
1万口当り分配金	第54期	第55期	第56期	第57期	第58期	第59期
	80円	80円	80円	80円	40円	40円

●<分配金再投資コース>をご利用の方の税引き分配金は、決算日現在の基準価額に基づいて自動的に再投資いたしました。

・分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」があります。
・分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または個別元本を上回る場合には、分配金の全額が普通分配金となります。
・分配落ち後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）、残りの額が普通分配金です。
・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時における個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。

《お知らせ》
■商号変更について
大和証券投資信託委託株式会社は、2020年4月1日付で、商号を「大和アセットマネジメント株式会社」に変更いたしました。

クレディ・スイス・ユニバーサル・トラスト（ケイマン）Ⅲ－
ダイワ・アメリカン・ハイ・ディビデンド・エクイティ・クワトロ・インカム・ファンド

当ファンド（通貨選択型アメリカン・エクイティ・αクワトロ（毎月分配型））の主要投資対象である、ケイマン籍の外国投資信託「クレディ・スイス・ユニバーサル・トラスト（ケイマン）Ⅲ－ダイワ・アメリカン・ハイ・ディビデンド・エクイティ・クワトロ・インカム・ファンド」の受益証券（円建）の状況は次の通りです。
（注）2020年６月17日時点で入手しうる直近の状況を掲載しております。

（円建て）

純資産計算書
2019年９月30日

資産		
金融資産（損益通算後の評価額）	¥	1,075,635,735
資産合計		1,075,635,735
負債		
負債合計	¥	—
資本（償却可能受益証券の保有者に帰属する純資産）	¥	1,075,635,735

包括利益計算書

2019年９月30日に終了した年度

収益		
手数料収入	¥	302, 866, 323
金融資産および負債に係る純実現損（損益通算後の評価額）		(5, 579, 384)
金融資産および負債に係る評価損の純変動（損益通算後の評価額）		(332, 597, 629)
収益（損失）合計		(35, 310, 690)
費用		
報酬支払代行人手数料		4, 602, 568
費用合計		4, 602, 568
営業利益（損失）		(39, 913, 258)
包括利益（損失）合計（運用による償還可能受益証券の保有者に帰属する純資産の増（減））	¥	(39, 913, 258)

2019年９月30日現在の担保付スワップの残高

ストラテジー	U. S. 高配当株式クワトロ戦略
満期日	2021年12月30日
カウンターパーティ	クレディ・スイス・インターナショナル
簿価	3, 311, 747, 709　円
評価額	1, 075, 635, 735　円
評価損	(2, 236, 111, 974)　円

（注）担保付スワップへの投資を通じて、米国の高配当株式へ投資するとともに、為替取引ならびに株式および通貨のカバードコール戦略を組み合わせています。

ダイワ・マネーポートフォリオ・マザーファンド

＜補足情報＞

当ファンド（通貨選択型アメリカン・エクイティ・αクワトロ（毎月分配型））が投資対象としている「ダイワ・マネーポートフォリオ・マザーファンド」の決算日（2019年12月９日）と、当ファンドの決算日が異なっておりますので、当ファンドの第59期の決算日（2020年６月17日）現在におけるダイワ・マネーポートフォリオ・マザーファンドの組入資産の内容等を掲載いたしました。

■ダイワ・マネーポートフォリオ・マザーファンドの主要な売買銘柄

2019年12月18日～2020年６月17日における主要な売買銘柄はありません。

■組入資産明細表

2020年６月17日現在、有価証券等の組み入れはありません。

ダイワ・マネーポートフォリオ・マザーファンド

運用報告書　第11期（決算日　2019年12月９日）

（作成対象期間　2018年12月11日～2019年12月９日）

ダイワ・マネーポートフォリオ・マザーファンドの運用状況をご報告申し上げます。

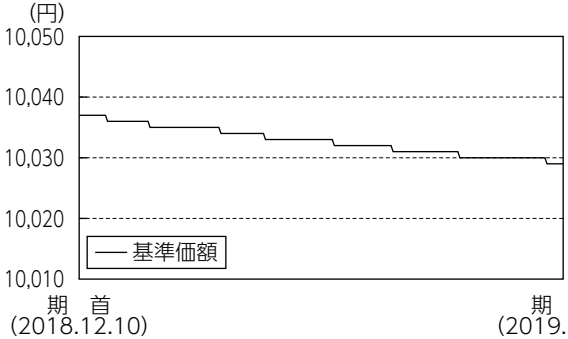
★当ファンドの仕組みは次の通りです。

運　用　方　針	安定した収益の確保をめざして安定運用を行ないます。
主要投資対象	円建ての債券
株式組入制限	純資産総額の10%以下

大和投資信託
Daiwa Asset Management

大和証券投資信託委託株式会社
東京都千代田区丸の内一丁目９番１号
https://www.daiwa-am.co.jp/

■当作成期中の基準価額と市況等の推移



年月日	基準価額		公社債組入比率
		騰落率	
	円	%	%
(期首)2018年12月10日	10,037	−	−
12月末	10,037	0.0	−
2019年1月末	10,036	△0.0	−
2月末	10,035	△0.0	−
3月末	10,034	△0.0	−
4月末	10,034	△0.0	−
5月末	10,033	△0.0	−
6月末	10,032	△0.0	−
7月末	10,032	△0.0	−
8月末	10,031	△0.1	−
9月末	10,030	△0.1	−
10月末	10,030	△0.1	−
11月末	10,029	△0.1	−
(期末)2019年12月9日	10,029	△0.1	−

(注1) 騰落率は期首比。
(注2) 公社債組入比率は新株予約権付社債券（転換社債券）および債券先物を除きます。
(注3) 当ファンドは、安定した収益の確保をめざして安定運用を行っており、ベンチマークおよび参考指数はありません。

《運用経過》

◆基準価額等の推移について

【基準価額・騰落率】

期首：10,037円　期末：10,029円　騰落率：△0.1%

【基準価額の主な変動要因】

短期の国債やコール・ローン等の利回りがマイナス圏で推移したことなどから、基準価額は下落しました。

◆投資環境について

○国内短期金融市況

当作成期を通じて、日銀は長短金利操作付き量的・質的金融緩和を維持しました。この金融政策を背景に、国庫短期証券（3カ月物）の利回りおよび無担保コール翌日物金利はマイナス圏で推移しました。

◆前作成期末における「今後の運用方針」

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

◆ポートフォリオについて

流動性と資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行いました。

◆ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

《今後の運用方針》

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

■1万口当りの費用の明細

項目	当期
売買委託手数料	−円
有価証券取引税	−
その他費用	2
(その他)	(2)
合計	2

(注1) 費用の項目および算出法については前掲の「1万口当りの費用の明細」の項目の概要をご参照ください。
(注2) 項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

■売買および取引の状況

公社債

(2018年12月11日から2019年12月9日まで)

		買付額	売付額
		千円	千円
国内	国債証券	330,004	− (330,000)

(注1) 金額は受渡し代金（経過利子分は含まれておりません）。
(注2) ( )内は償還による減少分で、上段の数字には含まれておりません。
(注3) 単位未満は切捨て。

■主要な売買銘柄

公社債

(2018年12月11日から2019年12月9日まで)

当期				
買付			売付	
銘柄		金額	銘柄	金額
		千円		千円
801 国庫短期証券 2019/3/18		330,004		

(注1) 金額は受渡し代金（経過利子分は含まれておりません）。
(注2) 単位未満は切捨て。

■組入資産明細表

当作成期末における有価証券等の組み入れはありません。

■投資信託財産の構成

2019年12月９日現在

項目	当期末	
	評価額	比率
	千円	%
コール・ローン等、その他	38,397,784	100.0
投資信託財産総額	38,397,784	100.0

（注）評価額の単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2019年12月９日現在

項目	当期末
(A) 資産	**38,397,784,417円**
コール・ローン等	38,397,784,417
(B) 負債	**231,026**
その他未払費用	231,026
(C) 純資産総額(A－B)	**38,397,553,391**
元本	38,285,006,118
次期繰越損益金	112,547,273
(D) 受益権総口数	**38,285,006,118口**
１万口当り基準価額(C／D)	**10,029円**

＊期首における元本額は69,103,393,644円、当作成期間中における追加設定元本額は48,176,499,313円、同解約元本額は78,994,886,839円です。
＊当期末における当マザーファンドを投資対象とする投資信託の元本額は、ダイワ米ドル・ブルファンド（適格機関投資家専用）5,951,591,455円、ダイワ米ドル・ベアファンド（適格機関投資家専用）17,806,836,243円、ダイワ・マネーポートフォリオ（FOFs用）（適格機関投資家専用）1,089,639円、ダイワＪリートベア・ファンド（適格機関投資家専用）965,948,988円、通貨選択型米国リート・αクワトロ（毎月分配型）159,141円、通貨選択型アメリカン・エクイティ・αクワトロ（毎月分配型）159,141円、オール・マーケット・インカム戦略（資産成長重視コース）9,963円、オール・マーケット・インカム戦略（奇数月定額分配コース）9,963円、オール・マーケット・インカム戦略（奇数月定率分配コース）9,963円、オール・マーケット・インカム戦略（予想分配金提示型コース）9,963円、ＡＨＬターゲットリスク・ライト戦略ファンド（適格機関投資家専用）3,421,817,396円、ダイワユーロベア・ファンド（２倍、非リバランス型）（適格機関投資家専用）963,651,156円、ダイワ米ドルベア・ファンド（２倍、非リバランス型）（適格機関投資家専用）1,531,319,164円、ダイワ／ロジャーズ国際コモディティ™・ファンド5,408,343円、ダイワ／フィデリティ・アジア・ハイ・イールド債券ファンド（通貨選択型）日本円・コース（毎月分配型）998円、ダイワ／フィデリティ・アジア・ハイ・イールド債券ファンド（通貨選択型）ブラジル・レアル・コース（毎月分配型）998円、ダイワ／フィデリティ・アジア・ハイ・イールド債券ファンド（通貨選択型）アジア通貨・コース（毎月分配型）998円、ダイワＴＯＰＩＸベア・ファンド（適格機関投資家専用）7,635,801,481円、ダイワ豪ドル建て高利回り証券α（毎月分配型）9,949円、ダイワ米国国債７－10年ラダー型ファンド・マネーポートフォリオ　－　ＵＳトライアングル　－　997,374円、ダイワ豪ドル建て高利回り証券ファンド　－予想分配金提示型－　173,802円です。
＊当期末の計算口数当りの純資産額は10,029円です。

■損益の状況

当期　自2018年12月11日　至2019年12月９日

項目	当期
(A) 配当等収益	**△ 33,300,262円**
受取利息	347,877
支払利息	△ 33,648,139
(B) その他費用	**△ 13,012,117**
(C) 当期損益金(A＋B)	**△ 46,312,379**
(D) 前期繰越損益金	**255,922,474**
(E) 解約差損益金	**△260,877,509**
(F) 追加信託差損益金	**163,814,687**
(G) 合計(C＋D＋E＋F)	**112,547,273**
次期繰越損益金(G)	**112,547,273**

（注１）解約差損益金とは、一部解約時の解約価額と元本との差額をいい、元本を下回る場合は利益として、上回る場合は損失として処理されます。
（注２）追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。